

8-4-30 政策・事業評価専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

当専門委員会は、主に道路系・河川系の計画系業務に関連する政策や事業評価に関する内容を取扱うものとし、セミナー等の企画・開催、各種政策の最新動向把握や事業評価制度の検討、政策が展開されている現地の踏査・研究を通じ、協会員や委員の実務的技術習得と技術水準の向上を目的としている。

(2) 専門委員会の開催

- a) 専門委員会の開催回数:5回(WGは適宜開催)
- b) 3つのWGによる活動
- c) セミナー1回と委員会内現地視察1回を実施

(3) セミナーWG活動

河川、道路分野を中心に事業評価や政策評価に関わる最新動向を収集・整理し本委員会の場での情報提供とセミナーの企画・開催を行った。

- a) 令和5年セミナーテーマ:「動き出した流域治水(第二弾)～本格的な実践に向けて～」(講師2名の講演)」

① 地理的・歴史的な脈を踏まえた流域治水に向けて(政策研究大学院大学 知花 武佳 教授)

② 「都市計画・まちづくりから見た流域治水」(東北大学災害科学国際研究所 姥浦 道生 教授)

b) 開催日時:12月11日(月)13:30~16:40

c) 会場:Web開催(講師と事務局は外部会議室)

d) 参加者数:237名(事前申し込みは260名)

また、本セミナーの動画については、編集後にCPD推進専門委員会へ提出した。

(4) 政策評価WG活動

国交省等で積極的な施策展開がなされている「コンパクトシティ」や「流域治水」に着目し、国内における取り組みや導入事例などをとりまとめて委員会内で共有するとともに、6月に現地視察(富山市中心部と宇奈月ダム)を実施した。富山市内においては富山駅高架化に伴うLRT南北直通運転状況や富山駅の鉄道と路面電車の結節状況、LRT岩瀬浜駅におけるバスへの対面乗り

継ぎなどを視察した。また、黒部川の流域治水プロジェクトでは、上流ダム群で連携して事前放流を実施していることなどから宇奈月ダムを視察した。

(5) 事業評価制度WG活動

今年度は下記5項目に関する動向把握調査を中心に各地整の事業評価監視委員会の開催動向、整備効果の内容に関する結果をとりまとめた。

事業評価手法に関しては、社会的割引率(4%)の見直しや費用便益分析に依存しない評価手法・取組等に関する情報収集を行った。

- a) 事業評価手法に関する調査
- b) 事業評価に関する勉強会の企画検討
- c) 事業評価制度に関する動向把握
- d) 整備効果に関わる動向調査
- e) DXに関する先進事例調査

2. 次年度の活動について

セミナーWGは、政策・事業評価等に関する最新情報・話題等を基に、道路分野、河川・港湾分野を中心としたセミナーの企画・開催を行う。

また、それら分野に係る政策・事業評価に関する最新の話題・トピック等の情報を幅広く収集し、委員会場で共有する。なお、来年度のセミナーのテーマについては道路交通系での実施を想定している。

政策評価WGは、先進性・全国拡散性の視点から、国土交通省等の動きを調査し、着目すべき施策(スマートシティや新たなモビリティ、ライドシェア、グリーン社会など)を選定し、それら施策について現地視察(遠方や日帰り圏)を念頭においた詳細の情報収集・整理を実施する。なお、令和6年度の現地視察(日帰り圏)は令和5年度に見送った内容(宇都宮LRT開業後の状況)の実施を想定している。

事業評価WGは、引き続き、事業評価制度や事業評価関連マニュアルに関する調査、全国各地整の事業評価監視委員会の動向、各種整備効果の事例収集やDXに関する事例・動向調査等を実施する。

(政策・事業評価専門委員会委員長 篠崎 毅)